

ハウスサクランボ特報

平成29年6月30日
JA中野市営農センター
JA中野市サクランボ部会

今後は、高温からハダニ類の多発が予想されます。次年度産へ影響しないよう、防除や夏季管理を徹底しましょう。

1. 夏季管理

- 1) 夏季剪定の実施、光線の透過率を確保する。
- 2) かん水・・・特にハダニ抑制のため樹上かん水を実施する。

夏季対策：1週間に1～2回かん水を実施する。

- 3) 下草管理・・・隣接園へのスリップス類被害防止

バスタ液剤、ザクサ液剤、プリグロックスL等を使用する

2. 病虫害防除 隣接園に飛散しないよう注意する

7月上旬	水	100ℓ当り	散布量	ℓ	散布日	7月	日
	展着剤	20mℓ					
	コロマイト乳剤	100mℓ					(収穫7日前、1回)
	トレノックスフロアブル	200mℓ					(収穫21日前、5回)
	アルバリン顆粒水溶剤	50g					(収穫前日、2回)
適用病虫害	せん孔病・ハダニ類・カメムシ類						
散布量	10a当り SS 500ℓ・動噴600ℓ						

7月下旬	水	100ℓ当り	散布量	ℓ	散布日	7月	日
	展着剤	20mℓ					
	オキシラン水和剤	166g					(収穫後～落葉期、3回)
	 スプラサイド水和剤	66g					(収穫7日前、3回)
適用病虫害	せん孔病、ウメシロカイガラムシ、カメムシ類、(ケムシ類)						
散布量	10a当り SS 500ℓ・動噴600ℓ						
注意事項	(キンセツ水和剤・オキシラン水和剤)等、葉が軟弱傾向な場合や散布時間に注意する。(葉の葉害)						

○アメリカシロヒトリの発生園はサムコルフロアブル10の2500倍(前日、3回)を加用散布する。

* もんぱ病対策

フロンサイドSC500倍(収穫30日前、1回)1樹あたり50ℓ～100ℓ土壌灌注を実施。

1ヶ月後放線菌資材など(ビオ有機他)を施用する。

農薬(毒物・劇物)を購入の際には、印鑑をご持参下さい。